



大 船 山

ホームページ https://www.city.ena.lg.jp/enaschoolnetwork/e/kamiyahagi_1/index.html

第13号

令和8年2月24日

誰かのために、何かのために

校長 高橋 かおり

先日の下校集会でのことです。直径30センチメートルほどに丸められたラインテープを見せながら、その日のお話担当の教師が話し始めました。「これは何だと思えますか？ 体育館掃除の子達が体育館の床に貼られた古いラインを剥がしてくれています。」と。体育館掃除の子達の担当場所は、体育館、階段、メロディールーム、図書室、理科室、音楽室です。毎日全てを掃除することはできないので、計画的にきれいにしています。それにしても、はじめの会や反省会も含めて15分間で、しかもたったの4人で、よくそんなところまで手が回るものだと感心して聞いていると、「『6年生が気持ちよく卒業できるように』と頑張ってくれています。先生は、その気持ちがかうれいす……」と話が続きました。

新1年生の半日入学がありました。この日のために、5年生は学校紹介の準備を、1年生の子達は1年生の学習内容を紹介する準備をして迎えました。当日、受付を終えた新1年生を5年生が案内しました。説明が始まるまでまだ少し時間がありました。すると、ある5年生は優しく話しかけていました。別の子は図書館へ行って読み聞かせの本を選んできました。2人の新1年生のために、10人の5年生が大わらわでした。「少しでも不安をなくして、上矢作小学校に入学することを楽しみにしてほしい。」という、5年生や1年生の思いが届いたのでしょうか。はじめは緊張気味だった新1年生も、帰るときには2人とも笑顔になっていました。



体育館の床に古いラインが残っていると、卒業式に悪影響があるのでしょうか？ 半日入学が始まるまでの5分間を待たされたからといって、上矢作小学校が怖い場所になるのでしょうか？ そんなことはありません。もしかしたら、ラインを剥がしたことも、安心できるような気にかけたことも、誰にも気付かれずにすんでしまうかもしれません。それでも、「誰かのために」と行動した優しい心が尊いのだと思います。

学校生活の中には、他者と共に過ごしているから現れる優しさや思いやりがたくさんあります。次に使う人のためにトイレのスリッパを揃えたり、みんなが元気になるよう大きな声と笑顔で挨拶したり、急いでいて廊下を走りたくても他の人が安心して過ごせるように歩いて移動したり、みんなで使うものを大切に扱って元あった場所に戻したり、みんなが気持ちよく過ごせるようロッカーの中や下駄箱の靴を整頓したり……。一人一人の小さな行動が集まって上矢作小学校の空気のようなものをつくっているのです。

上矢作小学校に今年も福寿草が咲きました。花言葉は「幸福を招く」。上矢作っ子の優しさが学校を温かい場所にしていけるのを、にっこり笑って見守っているようです。

